

本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① 帝、御簾を上げさせ給ふ。
- ② 上皇、いみじう笑はせ給ふ。
- ③ 中宮、歌を詠ませ給ふ。
- ④ 帝、大臣を呼ばせ給ふ。
- ⑤ 院、女房に火を灯させ給ふ。
- ⑥ 帝、御几帳を立てしめ給ふ。
- ⑦ 上、御車を寄せさせ給ふ。
- ⑧ 大納言、人に文を書かす。
- ⑨ 主人、童に水を汲ませけり。
- ⑩ 帝、御琴を弾かせおはします。
- ⑪ 翁、竹を取りて、それを使ひに持たす。
- ⑫ 院、御心地悩ませ給ふ。
- ⑬ 帝、近き者をして御文を奉らせ給ふ。
- ⑭ 后、御簾の内にて聞こしめさせ給ふ。
- ⑮ 中宮、女房どもに物を賜はせ給ふ。
- ⑯ 上皇、御堂を造らせ給ふ。

設問

1. ①「上げさせ給ふ」の「させ」は、二重尊敬・使役のどちらか。下に尊敬語があるかを根拠に答えよ。
2. ①「上げさせ給ふ」は誰から誰への敬意か。
3. ②「笑はせ給ふ」の「せ」は、二重尊敬・使役のどちらか。判断の根拠も示せ。
4. ②「笑はせ給ふ」は誰への敬意を表すか。
5. ②「いみじう笑はせ給ふ」を現代語訳せよ。
6. ③「詠ませ給ふ」の「せ」は、二重尊敬・使役のどちらか。
 - そう判断した根拠を一言で述べよ。
7. ③「歌を詠ませ給ふ」を現代語訳せよ。
8. ④「呼ばせ給ふ」の「せ」は、二重尊敬・使役のどちらか。下に注目して答えよ。
9. ⑤「灯させ給ふ」の「させ」は、二重尊敬・使役のどちらか。
 - 「女房に」という語があることに注目して答えよ。
10. ⑥「立てしめ給ふ」の「しめ」は、二重尊敬・使役のどちらか答えよ。

11. ⑦「寄せさせ給ふ」の「させ」は、二重尊敬・使役のどちらか答えよ。
12. ⑧「書かす」の「す」は、二重尊敬・使役のどちらか。下に尊敬語があるかを根拠に答えよ。
13. ⑧「人に文を書かす」を現代語訳せよ。
14. ⑨「汲ませけり」の「せ」は、二重尊敬・使役のどちらか答えよ。
15. ⑨「童に水を汲ませけり」を現代語訳せよ。
16. ⑩「弾かせおはします」の「せ」は、二重尊敬・使役のどちらか。
 - 「おはします」が何かを答えたうえで判断せよ。
17. ⑪「持たす」の「す」は、二重尊敬・使役のどちらか答えよ。
18. ⑫「悩ませ給ふ」は誰への、どの種類の敬意か（尊敬・謙譲・丁寧のいずれか）も答えよ。
19. ⑬「奉らせ給ふ」について、「奉ら」「せ」「給ふ」のそれぞれの文法的な働きと、敬語であれば誰への敬意かを区別して答えよ。
20. 次の二つの違いを説明せよ。
 - (A)「帝、笑ひ給ふ」
 - (B)「帝、笑はせ給ふ」
21. 普通の尊敬（補助動詞「給ふ」だけ）と最高敬語（二重尊敬）とでは、敬意の高さや、その敬意を向ける対象にどのような違いがあるか説明せよ。
22. 【記述】二重尊敬「せ給ふ・させ給ふ」と使役「す・さす」を見分けるとき、最も重要な着眼点は何か。本文中の語を例に挙げて、一～二文で説明せよ。
23. 【記述】最高敬語が用いられると、主語が誰であるかを推測する助けになることがある。それはなぜか、敬意の対象という観点から一～二文で説明せよ。